



報告特集

（仮称）嶺北香美ウィンド
ファーム事業計画説明会



大豊町に、巨大風車を建設？

いま、大豊町（北川～西峰）と香美市の尾根沿いに、およそ180mの風車を建設する計画が立ち上がっています。4/26（土）大豊町ふれあいセンターにて開催されたこの計画の説明会には、事業計画者である株式会社GFさんと、麓の集落の住民を中心とした大豊町民（来場38名、オンライン参加4名、合計42名）が参加しました。同じ町内で起きている事を皆さんに知っていただくため、当日の意見交換の内容をまとめます。この特集を読みながら、一緒に大豊の未来について考えてみませんか？

▼風車建設計画の概要

- 大豊町と香美市の尾根沿いに風車を建設する計画
- 大豊町側では北川～西峰が含まれる
- 大きさは最大180m（ゆとりすとパーク風車の約2倍）
- 最大で36基を建設予定
- 事業計画者は株式会社GF
 - 2011年に設立／資本金8400万円／徳島県阿南市
 - 太陽光発電事業／風力発電事業／エンジニアリング
 - <https://gfcorp.jp/>
- 四国のその他の風力発電については、四国風車ネットワーク（<https://wind4net.official.ec/>）で調べられる

計画事業者はどんな会社？

これまでに風車建設は何件もしているのか？
愛媛県宇和島市と愛南町の尾根、2026年運転開始予定の風車を8基建設したのが最初。嶺北香美は2例目になる。

1例目の建設にあたって配慮した事は何か？ また、工事による問題・影響はなかったか？

土工量（掘削や盛土の際に必要な土の量）を最小にする、調整池（雨水が河川に一気に流れ込まないように一時的に貯める）を適切にするなど。当初は林野庁より設計に指導があったが、周辺住民から不安の声などはない。

関西電力が絡んでいる理由は？

弊社は、規模の小さい弱小企業であり、電力の知識も足りていないので、関西電力さんには電力の知識と資金面を補っていただくために、一緒に調査している

なぜ大豊町に風車？

高知県の他の風車設置場所は自然環境指数が200程度に対して、なぜ自然環境指数450以上と自然環境が豊かなこの場所に計画したのか？

①強い風が吹く ②送電線との距離が近い ③風車を運べる場所 ④人家との距離が1.6km離れている

高知県が定める地球温暖化対策実行計画のなかで推進区域には入っていない場所になぜ建設をするのか？

推進区域リストに入っていないだけで、十分に発電効果があると考えている。

環境・景観への影響はないの？

生態系に与える影響は？

トラップ調査により、どこにどのような動物がいるかを把握し、専門機関のアドバイスに沿って対策する。

風向き・風量等、目に見えないものの調査や配慮は？
具体的な調査はしていない。風車の近くは風が減衰するが、離れれば元に戻る。

風速何メートルに耐えられるのか？東豊永にある水力発電所への影響（水源地の開発により水量が減る可能性）を懸念する。

風速83メートルに耐えられるものを採用予定。

多雨・地すべり地帯だが、対策は？

国交省との連携はまだできてないが、今後必要と考えている。

美しい山並みと星空が自慢の風景が壊されることについてどう思うか？

地球の未来のために、地球温暖化防止が我々の使命だと思っている。

▼採用が検討されている風車

- 大きさ
 - 最大高さ140～180m
 - ハブ（支柱）高さ80～115m
 - ローター直径120～130m
- 発電量
 - 4200kw級の発電が可能、現在はこの大きさが主流
- 他の風車との比較
 - 杖立山の風車は2300kwの中型
 - ゆとりストパークの風車（高さ90m）は300kwの古いタイプで現在では製造されていない。

その風車、本当にだいじょうぶ？

デンマーク/ベスタス社製を想定しているようだが、**修理の部品・耐用年数は？**
通常は20年だが、メンテナンスしながら30年ほど使用できる。ベスタス社を採用する場合は、海外スタッフが数名常駐し、部品等管理するブレード（羽根）などの大きなパーツは取り寄せになるので、数か月運転できなくなる場合もある。

仮に最大30年として使い切った後はどうする？
改めて新しいものを設置しなおし、継続していきたい。

デンマークなどヨーロッパ諸国は安定した気候だが、高温多湿の日本の気候では、**耐久性が落ちるのではないか？故障が多いのでは？**
国内大手企業が開発していた時期もあったが、うまくいかず撤退した過去がある。

地震大国である日本での耐震はどうか？
外国製だが日本の認証機関により、認証されたものを採用する。地震に関しても十分考慮している。

世界中で起きている問題は？

実際に起きている事故や問題を把握しているのか？訴訟が増えていることは？
事故について古い機種に関してのものは認識はしている。訴訟についても認識している。

原子力事故のように、何かあってから「想定外だった」というだけではないか。不安でいっぱいだ。「人家との距離が2km離れているから大丈夫だ」というが機種も決まっていないのになぜ言い切れるのか？
計画・調査段階のため、今はフワッとしたことしか示せないが、昔の機種と比べると性能は上がっている。2kmという距離は他と比べても十分とっている方だ。

世界中で風力発電事業から撤退しているのに？
風力発電に問題があるから撤退しているのではない。ヨーロッパはウクライナ情勢による資材高騰、アメリカは、トランプ大統領が脱再生エネルギーを唱えているから。

自然を求めて移住する人は？

風車乱立地域には、計画段階であってもネガティブな情報が広がれば、移住先には選ばないと思う。それについてどう思うか？また、移住支援をしている人のモチベーションが下がるのではないか？
風車建設＝移住者が来ない、という因果関係はない。移住者が来ないのは、その他の要因があるのではないか。

実際に大豊に移住してきたほとんどの人は、自然が残る大豊町が気に入った、という理由だが？因果関係についての調査等はしたのか？
調査はしていない、言い過ぎた。

高知県の中で高齢化・人口減少率がトップの大豊町において、若者（子供）の多くは町外から移住して来た人であり、唯一の希望だ。大豊の自然を求めてこの地を選ぶ移住者が、減るのではないか。
もちろん地域の賛同を得るのも重要だが、風車建設＝自然破壊とは思っていない。社会全体（地球の将来）のためにやらなければならないと思っている。発電事業は決して暴利を得るものではなく、細々とした事業であるため、長くお付き合いしていきたい。



当日の説明の様子

住民の声を聞いてほしい！

大豊町はもう十分にカーボンオフセットに貢献してきている。電気を大量に必要としている場所で建設しては？大豊町のためだけにこの計画があるのではないし、互いに協力し合って社会が成り立っている。社会全体のためだ。

都市部の電気のために、人口の少ない地方が犠牲になることに納得いかない。クリーンエネルギーも重要だが、それ以前にもっと省エネ改革をすべきでは？
地域のエネルギーは地域で恩恵を受ける形にならないといけないと思ってる、そこは工夫していきたい。

一個人が勇気を振り絞って意見している住民への誠意が見られない。法律がどうか、地球のためとか言う前に、ここで暮らす住民の声をもっと聴くべきでは？
地域の方の一定程度の賛成がないと、事業推進はできないと考えている。今回の事業は「是が非でもやる」というよりは、「できればやりたい」というレベル。

